

(参考様式5)

平21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	岩舟町	静戸川	平成18年度～ 平成20年度	平成18年度

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容：

イ 施策の実績

(コメント)

--

ウ 施策の効果

(コメント)

--

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード

ア 施策の内容：**用水路の改修を行い、水管理の合理化、施設の機能向上、効率的な農業生産基盤を確立することで、生産性の向上及び維持管理費の節減を図る。**

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤	基盤整備促進	農業用排水施設	岩舟土地改良区	岩舟土地改良区
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
3,021m	平成18年度	平成18年度	平成19年3月26日	

事項	単位	計画時 (18年度)	目標値 (20年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
水路工	m	2,999	2,999	3,021	100	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策（目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること）

(イ) 施設等の利用実績
施設等名 ()

年次	室名	事項	計画	月別利用実績													利用率
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
平成 年度	〇〇室		人														%
			日														%
	延べ利 用室数	室														%	
	〇〇〇															%	
	△△室		人														%
			日														%
	延べ利 用室数	室														%	
	〇〇〇															%	

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未満である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に () 書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は () 書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)

水路が整備されたことにより、効率的な農業生産の基盤が確立し、土地利用型作物である、麦・大豆をはじめ野菜類の導入により生産性の向上が図られ、投資効果が発揮された。

※ 施設等の種類ごと、事業実施主体ごとに記載すること

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農業用排水施設等の機能確保	19.8ha	19.8ha	100%	
地域	転作作物の生産量増加	100%	100% (28a)	100%	
	自然環境の保全・再生等に向けた取組	生態系水路 100%	生態系水路 100% (L=48m)	100%	

(コメント)

当地区では、魚類、両生類などの生物が確認されている為、計画路線の一部に計画断面より幅広く深い製品を使用し、生物の生息空間を人工的に確保した施工を実施。

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

施設整備によって、農業用水の安定確保が図れた。さらに、生態系に配慮した整備を行い、豊かな生態系の保全と、施設機能を併せ持つ効果が期待でき、他組織からも注目されている。

4 総合評価

(コメント)

農業用排水施設の整備により、維持管理費の軽減と、農業用水の安定確保がされたことから、安定した営農活動が出来るようになった。

また、生態系水路の整備により、施設機能を維持しつつ周辺環境に配慮した水辺空間の保全が期待できるようになった。

(都道府県の意見)

(コメント)

用水改良により用水の安定供給と維持管理費の軽減が図られている。また、生態系水路の整備により農業と生物の共生の場が創設され周辺環境との調和が図られた。